

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
海外研修 I Overseas Studies I		1年・2年	集中（前期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(現地校との交流を含む台湾研修)	特に無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特に無し				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特に無し				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清	本館2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
海外旅行の心得を学び、研修先の社会生活およびサービス産業に関する学習を重ねる。台湾は観光産業が盛んな場所なので、観光・ホテル業など現地の仕事やその役割を実践的に学ぶと共に、本学の現地姉妹校等との交流活動も実施する。				
授業の目標				
①台湾での観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができるようにする。 ②観光産業に関わる旅行業・ホテル等の仕事の流れを学習し、就職後に活かすことができるようにする。 ③姉妹校との交流活動等を通じてグローバルな感覚を身に付け、観光産業の現場等で実践的に活用することができるようにする。				
授業の方法				
事前指導の中で英会話や国際的なマナー、出入国に関する法令などを確認し、現地で滞在中観光産業の現場や現地姉妹校等を研修する。				
学習の成果（学習成果）				
①台湾の観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができる。 ②観光産業に関わる旅行業・ホテル等の仕事の流れを学習し、就職後に活かすことができる。 ③姉妹校との交流活動等を通じてグローバルな感覚を身に付け、観光産業の現場等で実践的に活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（研修概要・渡航手続き・研修先での諸注意）			
第2回目	目的地の環境・歴史・文化・経済等の概略			
第3回目	渡航手続き トラベル中国語会話			
第4回目	異文化の違いについて			
第5回目	渡航手続き トラベル中国語会話			
第6回目	渡航手続き 国際マナー			

第7回目	出国までの流れ	
第8回目	現地研修の準備①（観光事情等①）	
第9回目	現地研修の準備②（観光事情等②）	
第10回目	現地研修の準備③（姉妹校との交流活動準備①）	
第11回目	現地研修の準備④（姉妹校との交流活動準備②）	
第12回目	現地研修の準備⑤（台北市内研修①）	
第13回目	現地研修の準備⑥（台北市内研修②）	
第14回目	出発～帰国までの流れ	
第15回目	反省会 研修レポートの発表	
事前・事後学習	事前：授業内容に関する下調べを十分に行い、授業内で積極的に発表出来るよう心掛けること。 事後：授業内容を踏まえ、疑問点等を次回授業までに調べておくこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	事前指導を休まず、渡航手続きや出入国に関することを積極的に学ぶ。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	現地で学んだ台湾の観光産業の現状や姉妹校交流の状況等を詳しくレポートに書くこと。S評価の基準：課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。S=90-100
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	50%	台湾滞在中に、団体及びグループ行動の態度が良く、何でも吸収しようという積極的な態度を示す努力をすること。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
教科書と参考図書		
プリント等で対応		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（旅行業：海外旅行業務、職歴：通算31年） 事前指導の曜日、時間は参加者が決まってから決定する。		